

～～言葉が通じなくても、通じるもの～～

本川根中・中川根中生徒の「カナダ研修記」

今年度の中学生海外研修事業として、本川根中学校・中川根中学校の2年生がカナダへのホームステイを行いました。現地ではホストファミリーの温かさに触れたり、コミュニケーションの難しさに戸惑ったり、普段の生活では得ることのできない貴重な体験が満載だったようです。今月号と来月号の2回にわたり、「中学生海外研修感想文」をお届けします。この研修を通して生徒たちは何を感じ、そして何を得たのか。カナダ研修記をご覧ください。



本川根中学校
神谷 咲

◆心と心の コミュニケーション

私がカナダ研修を希望したきっかけは、本当の意味での心と心のコミュニケーションを知りたかったからです。

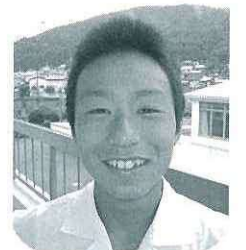
ホストファミリーのメロデーは天真爛漫で優しさに満ちあふれた女性でした。

時間にルーズで寝坊ばかりしている私を気遣って毎朝7時に起こしてくれたり、一日、夜眠れなくて困ったとき、遅い時間なのに私の趣味のショットピングに連れて行ってくれたり、一緒にクッキングをしてくれたりしました。

とても温かい彼女の優しさに触れたとき、私はとてもおだやかな気持ちになりました。

誰かが私のために何かをしてくれる、かけがえのない幸せを感じました。

メロデーと素直な気持ちで分かり合えたような気がしました。



本川根中学校
杉山友彦

◆言葉が通じなくても 通じるもの

「ハイイ！」この言葉をホストファミリーに笑顔で言われ、握手されたときには、今まで緊張していた気持ちが一気に吹きとびました。

しかし、車の中での会話では、相手の話す英語がすごく早口で全然聞き取れなく困りました。そんな僕に家族が気づいてくれたのか、わかるまでゆっくり話してくれるようになり、また、ショットピングや花火を見に連れて行ってくれたりして、10日間本当に楽しむことができました。

この研修でホストファミリーの優しさに触れ、言葉が通じなくても心が通っていれば、何も不安ではないことを知ることができました。今年の夏は貴重な体験をすることができて本当に良かったです。



本川根中学校
芹澤かおり

◆海外研修で思ったこと

私はこの海外研修で、カナダのことをたくさん知ることができました。

その中で特に印象深かったのは、ホームステイ先の家について8時30分くらいまで明るかったこと、街では貼り紙や看板を出すことが禁止されていること、また電柱に木が使われていることなど、とても自然を大切にしているという事です。

この他にも、日本と違うところがたくさんあったので驚きました。

私のホストファミリーの人はとても面白かったので、10日間がとても短く感じました。私にとっても親切にしてくれたので嬉しかったです。

この10日間の経験を忘れずに、人に接し、生活していきたいと思えます。



本川根中学校
永田優美

◆ホストファミリー の優しさ

私がカナダに行って、一番思い出に残っていることは、私がホームステイしていた家族の人達との会話です。

初めは本場の英語が一つ二つくらいの単語しか理解できず、何を言っているのかわからなかったけれど、ホームステイ先の家族の人達はとても優しく、ゆっくり話してくれたり、簡単な単語を使ってくれたり、私が理解するまでジェスチャーや物を使って話してくれました。私はすごく嬉しかったです。

海外研修が終わるのが近づいて、ホームステイしていた家族の会話のスピードに慣れてきて、いろいろ理解できるようになりました。

私は海外研修に行けて良かったと思えました。